

各国の脱原発の状況

◆欧州の動き

ドイツ

稼働中の原発 17 基

発電量の中で原発の占める割合：23%

《ドイツの脱原発の歩み》

75 年 最初の原発が稼働

83 年 緑の党、連邦議会選挙で 5%の議席を獲得

86 年 チェルノブイリ事故→緑の党を躍進につながる 環境省が設置
再生可能エネルギー推進 と原子力の安全管理を担当

98 年 社会民主党と緑の党によるシュレーダー政権は「脱原発」を掲げ、20 年ごろまでの全廃を決定

00 年 連邦政府が原子力発電の廃止について主要電力会社と合意

01 年 脱原子力法案が成立

05 年 CDU が第一党のメルケル政権発足。09 年に SPD との連立解消

10 年 9 月 メルケル政権は前政権が定めた脱原発路線を転換

2020 年ごろまでに全廃する予定だった国内の原子力発電所の運転を平均で 12 年間延長する方針を決定し

建前は再生可能エネルギーが発電の主力を占めるまでの「橋渡し」

風力などの再生可能エネルギーが発電総量に占める割合を高める方針も打ち出す

電力業界には「原発燃料税」を新たに課税

11 年 6 月 30 日

脱原発法が成立

社民党、緑の党も賛成し超党派の合意

・ 22 年までに国内に 17 基ある原発を閉鎖

残り 9 基のうち、15 年、17 年、19 年に一基ずつ停止、3 基は 21 年、残り 3 基は 22 年までに停止

・ 再生可能エネルギーの電力比率を 20 年までに少なくとも 35%へ倍増

《根強い反原発運動》

70 年代から原子力への反対運動が盛り上がる

冷戦期にも 10 万人規模のデモ

ゴアレーベンの闘い

77 年に放射性廃棄物処分場に指定

09 年 8 月 処分場決定をめぐるスキャンダルが暴露

ゴアレーベンは地質学調査を踏まえて当時の連邦政府が選んだ 3 つの最終候補地には含まれていなかったが、ニーダーザクセン州の当時の首相が、東ドイツの同様な最終処分場が東西ドイツの国境近くにあったことへの仕返しとして、国境近くのゴアレーベンを選定した

放射性廃棄物運搬阻止の闘い

09 年 7 月 ハンブルク近郊のクリュメル原発事故

変圧器のショートが原因。07年にも同様の事故が起こる
運営するバッテンフォール・ヨーロッパ社からの電力購入ボイコットの呼びかけ
09年にベルリンで反原発5万人デモ
10年9月 メルケル政権の方針転換に抗議、10万人デモ
福島事故後、25万人デモ

《緑の党の躍進》

79年結成
現在は連邦議会に68議席を持つ(68/611、11%)
98年～05年 SPD(社民党)との連立政権を結成
00年代には8～9%の議席数を維持
11年3月 南西部バーテン・ウエルテンベルク州 緑の党が躍進
→前回選挙から得票率を倍増。同党から州首相が誕生
5月 ブレーメン州 緑の党が第二党に
世論調査では、SPDの支持率を上回ることもある
05年の選挙で躍進した左翼党も全原発の即時廃止を主張(現在は
11年9月 ベルリン特別市議会選挙
緑の党の得票率:17.6% 第三党になり SPDとの連立が有力

《ドイツのエネルギー事情》

2020年までにCO2排出量を90年比で-40% 2050年までに-80%するという目標を掲げる
そのための120もの法案が提出
→09年の原発延長もCO2削減を口実に行われた
ドイツは欧州の中ではエネルギーの輸入依存度が高いため、エネルギーの安定的確保という観点から
もエネルギー政策の転換が求められている

○エネルギー効率を高めるとりくみ

エネルギー消費—運輸、家庭、小規模消費者で45%
家庭と小規模消費者への対策が叫ばれている
白熱電球が規制され、蛍光灯とLEDしか買えなくなっている
新しい家を建てる時、エネルギー効率を高くしなくてはならない
ドイツでは原発労働者は比較的少なく、脱原発を進めるほうが新たな雇用を創出する
再生可能エネルギー関連労働者 37万人
→2030年には自動車産業労働者を超えると予測

○電力の需給調整

福島事故から一週間後に7機の原発を止める
発電能力の約40%が使われなくなった(総発電量の8-9%に相当)
事故後も電力の輸出を継続
価格に応じて輸出、輸入を繰り返すことができるのは、欧州の電力網が国境を越えてつながり、自由
に電力の売買が可能
原発による電力23%がなくてもドイツのエネルギー需給にはあまり影響がない

○固定価格買取制度の可能性

91年に導入

買い取り価格が低かったため、再生可能エネルギーの導入は限定的

00年の再生可能エネルギー法によって買い取り価格が改善され、急成長する（04年、09年にも価格を上げる）

太陽光発電

再生可能エネルギー発電の2%

再生可能エネルギーが買い取られる費用の約50%を占める

政府の環境諮問委員会は風力、バイオマスなど発電効率がいいエネルギーシステムにもう少し資金回すよう提案

フランス

稼働中の原発：58基

発電量の中で原発の占める割合：約80%

サルコジ政権は原発推進の姿勢を変えていない

最大野党・社会党は来年の大統領選に向けて、ヨーロッパエコロジー・緑の党（EEVT）との連携を模索

スイス

稼働中の原発：5基

発電量の中で原発の占める割合：約40%

11年5月 2034年までに5基の原発の停止を決める

イタリア

稼働中の原発：0基

86年以後、5基あった原子炉を順次閉鎖し脱原発が実現

→09年、ベルルスコーニが方針転換。原発の新規計画を含む原発関連法を制定

11年1月 憲法裁判所が国民投票を認める

11年6月の国民投票 投票率は54.79%で成立。94%が脱原発を支持

オーストリア

78年にツベンテンドルフ原発の稼働が国民投票で否決

→政府は計画していた7基の原発建設を断念

99年 原発建設禁止を憲法に明記

福島事故後の動き

消費電力の6%を周辺国の原発からの電力の輸入を問題視

2015年までに原発による電力の輸入に頼らなくするとの目標を掲げ、

再生可能エネルギー推進の法律を整備

EUとしての取り組み

6月から域内143基の原発のストレステストを実施

①天災

地震、洪水、極端な低温、極端な高温、雪、氷、嵐、竜巻、豪雨、その他

②人の起こす危険（失敗、行為）

飛行機墜落、原発近辺での爆発（ガスコンテナ、近くでのタンカー爆発）、火災。

テロ攻撃（飛行機での突っ込み、爆弾）

○ストレステストは3段階で行われる。

①Pre-assessment

原発の操業責任者がストレステストの質問に答え、証明する資料や研究、計画を提出する。

②National Report

各国の規制当局が上記回答が正しいかどうかチェックする。

③Peer reviews

多国籍チームが②をレビューする。

このチームは欧州委員会の1人と27か国の規制当局から6人の合計7人から成り現地訪問も行う
ストレステストは2012年4月末までに完了

検査により、ドイツの17基の原子炉のうち4基は小型飛行機の墜落に耐えられないことが判明

◆アジア、南米などの動き

中国

稼働中の原発：13基

28基を着工（世界の建設中の原発の4割）

原発新設審査を凍結

風力発電は世界一

発電能力は4500万kw ここ5年で35倍に

韓国

稼働中の原発：20基

老朽化した古里原発一号機の存続が問題に

周辺住民らが釜山地方裁判所に稼働の中止を求める仮処分を申請

政府は原発輸出に熱心

トルコ、インド、ベトナム、ブラジルは推進の姿勢を変えず

参考文献

ミランダ・A・シュラーズ 『ドイツは脱原発を選んだ』 岩波ブックレット 2011年9月

表1 ドイツの原子力発電所

原子炉のタイプ ¹⁾	電気出力(MWe) (net)	商業用運転開始	管理者	運転停止予定 (2001年仮決定)	運転停止合意 (2010年)	運転停止計画 (2011年3月, 5月)
ビブリス-A	1167	1975年2月	RWE	2008年	2016年	停止
ネッカー-ウエストハイム-1	785	1976年12月	EnBW	2009年	2017年	停止
ブルンスビュッテル	771	1977年2月	ファッテンファル	2009年	2018年	停止
ビブリス-B	1240	1977年1月	RWE	2011年	2018年	停止
イザール-1	878	1979年3月	E. ON	2011年	2019年	停止
ウンターヴェッサー	1345	1979年9月	E. ON	2012年	2020年	停止
フィリプスブルク-1	890	1980年3月	EnBW	2012年	2026年	停止
グラーフェンハインフェルト	1275	1982年6月	E. ON	2014年	2028年	2015年
クルメル	1260	1984年3月	ファッテンファル	2016年	2030年	停止
グントレミンゲン-B	1284	1984年4月	RWE	2016年	2030年	2017年
グントレミンゲン-C	1288	1985年1月	RWE	2016年	2030年	2021年
グレーンデ	1360	1985年2月	E. ON	2017年	2031年	2021年
フィリプスブルク-2	1392	1985年4月	EnBW	2018年	2032年	2019年
ブロクドルフ	1370	1986年12月	E. ON	2019年	2033年	2021年
イザール-2	1400	1988年4月	E. ON	2020年	2034年	2022年
エムスラント	1329	1988年6月	RWE	2021年	2035年	2022年
ネッカー-ウエストハイム-2	1305	1989年4月	EnBW	2022年	2036年	2022年
合計	20,339					

注1) PWR (pressurized water reactor, 加圧水型原子炉), BWR (boiling water reactor, 沸騰水型原子炉).
出所) <http://www.world-nuclear.org/info/inf43.html>

reactor, 沸騰水型原子炉).